

企業 ZOOM UP

第671回

関東テクニカルイールド

— 建物を24時間手厚く守ります！

新サービス続々

当社は、建物管理と不動産管理会社のサポートをメインに行う会社。マンションなどの物件における、技術対応に特化したトラブルの電話代行を請け負い、建物の修繕・各種設備保守を行う。いわゆる、建物の見守りだ。当社の創業社長である渡邊氏は、その見守りに関して「24時間」にこだわってきた。当社のコールセンターは、深夜の時間帯でも常時4名の人員を確保。スタッフは様々な資格を有する技術者が必ず含まれ、その場で瞬時に顧客へアドバイスをを行うことが可能だ。現場にも当社のスタッフが向かう。全て自社対応することで、高品質のサービス提供が行える。当社の売上規模を考えると、この人員体制で利益を維持するのは容易なことではない。社長は常に社員に「考えて行動すること」を言い聞かせている。その教えを守り、社員は多くの現場から自分で学び取り、多様な案件に柔軟に対応できるべく様々な資格を自ら取得。定着率も抜群で、豊富な経験とノウハウを持つ貴重な人材が揃うこととなった。その人材が提供するサービスには高い付加価値があり、顧客の信頼も得て経営基盤を強固なものとしている。

当社は「災害時に強い会社」でもある。2011年の東日本大震災の際も、同時に約40件出動し、うち35件が2時間以内で対応完了。2013年の伊豆台風の際も同時出動約20件でなんと全て1時間以内の対応を完了させている。これまで渡邊社長が育成したノウハウが十二分に活かされる結果となった。

そんな当社が新たに展開するのは「エレベーター自動点検監視システム」であり、1基あたり月額3500円（通信費含む）から、監視設備レンタル月額4000円からと、エレベーター保守業者または新規参入する会社をサポートできる体制を取っている。また、10年前からスタートした「防犯カメラレンタル」はカメラ1台（レコーダーセット）で月額3000円からの価格設定で顧客からの評判も良く、いずれも24時間監視体制を整えている。比較的low価格設定であり、個人単位での導入も期待できる。これまで当社がこだわり続けてきた「24時間」の見守りを、これまで培った豊富なノウハウと高い技術力で新たな角度から対応しており、管理組合向けの電灯用電力の自給自足発電システムも近日中に開始する予定。今後、高齢化や多様化が進む日本の住居。そこに住む人を24時間見守り続ける当社は、これからも人々の安心・安全を様々な形でサポートし続けていくことだろう。



「24時間の見守り」にこだわり続ける渡邊社長
自身も多くの資格を保有し、深夜勤務も厭わず

(取材・文／東京支社情報部 米村 吟子)

会社概要

(株) 関東テクニカルイールド

企業コード：987809829

東京都品川区上大崎1-23-14 池田山セントラル
ホームズ2階

電話03-3473-8572

渡邊裕司社長

設立：1994年8月、資本金：1億円

事業内容：建物設備メンテナンス

年売上高：約5億3900万円（2014年7月期）

従業員：25名

<http://www.kty-net.com/>